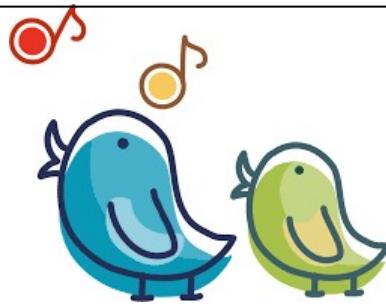


産地直送便



発行(農)山形おきたま産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2016.5.1 発行責任者 島崎栄一

～重 要～

さくらんぼに関してのお詫びとご注文中止のお知らせ

毎年さくらんぼのご注文を承っている皆様。当センターがある置賜地区全域に凍霜害が発生し、大幅な収穫量減が予想されることから、今年度のさくらんぼご注文受付は中止と判断させて頂きました。

ご期待を頂いている皆様にお知らせすることは大変心苦しいのですが、今まではご注文を頂いたお客様にご満足のいくものをご提供できない、収穫量が少なくご注文にお答えすることができないと判断し、苦渋の決断を致しました。山形県産さくらんぼのブランドを傷つけないために今後も励んで参りますので、何卒ご理解賜ります様お願い申し上げます。

来年度は皆様に安心、安全でおいしいさくらんぼをご提供出来る様、生産者、事務局共々取り組んで参りますので、宜しくお願ひ致します。

凍霜害（とうそうがい）に関してのご説明

秋期から春期等に温度が異常に低下し、つぼみが凍結し、雄しべ、雌しべの細胞が死んでしまいます。4/11～12にかけて、当センターの宮内、漆山地区は最低気温が-3.3℃、0℃以下が8時間

(※1) 続き、霜及び低温により多くのさくらんぼの雄しべが枯死してしまいました。（雄しべが死んでしまうと花は咲きますが、受粉しなくなる為、果実が実りません）霜対策だけであれば、深夜を通して焚火等で気流を停滞させない様にする等、被害を出来るだけ少なくする方法はありますが、低温が長く続いた為、こういった対策も大きな効果が示せない結果となりました。

※1 置賜総合支庁農業技術普及課 4/18 発表データ

種 ま き



有機米生産者 竹田 聰

今年も種まきが始まりました！年度はじめの大仕事です。

30cm×60cm の苗箱に土をしいて、水をかけ、種をまいてまた土をかぶせる。すべて機械がやってくれるので、私たちはひたすら土の補給とできあがった苗箱の取り出します。土が入った苗箱は水もかかるついてなかなか重い！毎年種まきが終わると腕が筋肉痛です。種まきが終わればいいよお米づくりの作業が忙しくなります。今年もおいしいお米くるために気合を入れてがんばっていきます。

第1回稻作講座

広報委員会、倉田です。

今回お話するのは、第1回稻作講座です。

毎年技術は少しづつですが進歩しています。改めてそれを見直しみんなで技術を共有し合う。そして組合員の出荷するお米の品質を高い水準で一定にする。これが1番大切なことです。

だからおきたま産直センターのお米は美味しいというお声がいただけます。



青年部部長 倉田健三

産直米変更連絡用紙

山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届日の10日前まで受付。

急な変更等は対応出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

NO — 00 (納品請求書の氏名の上、5桁のNO) FAX送信日 月 日

氏名 様 ☎ — —

お休み連絡 月 日お届け分のみお休み
月～ 月までお休み



変更連絡 月 日お届け分の変更
～変更内容～

